

「チャレンジド・スポーツ」から学ぶ

【大田市立高山小学校】

ねらい

パラリンピアンのお話や、ボッチャ競技の体験を通して障がいやパラスポーツへの理解を深める。

いつ

令和3年9月22日（水）

どこで

大田市立高山小学校 体育館

だれが

【講演】【ボッチャ体験】
全校児童・保護者 43名

※講師…藤田 英二氏
[山口県障害者スポーツ協会 会長]

なにを

- パラリンピックに関する講話
 - ボッチャ体験(パラリンピック競技)
- ※いずれもオンラインによる講演と指導

概要

- ・親子でパラリンピック競技について話を聴いたり実際に体験をしたりして、パラリンピックの理念や価値について学ぶ。
- ・東京2020パラリンピック大会ボッチャ競技の役員（副審）として参加された講師の感想や大会の様子などを聞き、障がいやパラスポーツへの理解を深める。
- ・人権教育参観日の取組として「チャレンジド(試練を克服する人たち)」の言葉の意味を知り、様々なことに挑戦する意欲を高めるとともに、ボッチャ競技の体験を通して障がい者スポーツの視点で大切なことを学ぶ。



2000年のシドニーパラリンピック陸上競技に日本代表として出場された講師のお話を子どもたちは真剣な表情で聞き、講師の質問にも積極的に答えていました。「チャレンジド(試練を克服する人たち)」という言葉の意味を知り、「最後まであきらめない気持ち」の大切さに改めて気づく機会となりました。また、東京2020パラリンピック大会ボッチャ競技の役員（副審）として参加された様子を写真で見たり講師の貴重な体験を聞いたりする中で、パラリンピック大会の様子を身近に感じることができました。また、親子でボッチャ競技にも挑戦し、障がい者スポーツへの理解をより一層深める機会となりました。